

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 湘南国際アフタースクール金沢文庫

公表日 2025年8月23日

利用児童数 26

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	9			教室が2階にあり階段なので足の不自由な人には親切とは言えない。スロープはないが階段の手すりはある。	建物の構造上、バリアフリー化等は難しい
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていると思いますか。	16					
	5	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	4				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	11	3		子ども自身、放課後に友だちと遊んだり、様々な習い事もしているので、必要性を感じない。	放課後児童クラブ等と上手く日程調整等がいかず、現状は厳しいのですが検討していきます。
保護者への説明等	7	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	14	1	1			保護者の方たちの送迎時に、なるべくお話を伺わせて頂くようにしていく。
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		10	6		保護者会等は、無い方が助かる。	様々なご意見がありますので、それらを踏まえて検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応がされていますか。	12	4				
	12	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				送迎時に、いつもその日の様子を教えてもらえるので嬉しく思う。なるべく毎回、その日の様子を伝えて欲しい。	
	13	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	7	1			周知の方法を検討していきます。
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	2				
非常時等の対応	15	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	16					
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	12	4				
満足度	17	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	3	1			
	18	事業所の支援に満足していますか。	16				子どもが学習が好きではないのであまり楽しみにはしていないが、親としては、学習面のフォローをしてもらって助かっている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		湘南国際アフタースクール金沢文庫					公表日 2025年8月23日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	2		建物の構造上、難しいが、できることは検討していきたい。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2				
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3				
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開している。	4	2				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6			機会をつくっていく方向ですすめる。	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2			電子媒体等を用いて幅広く参加できるようなものを検討していく。	
適切な支援の提供	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	4	2				
	10	子どもの適応の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	4	2				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		毎日のミーティング等で行っている。	毎日のミーティング等で行っていることを、職員が認識していけるようにしていく。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3		毎日のミーティング等で行っている。	毎日のミーティング等で行っていることを、職員が認識していけるようにしていく。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援している。	3	3		毎日のミーティング等で行っている。	今までよりも細かく話し合っていく。	
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6			各職員の事情もあるので、出来る範囲で行っていく。	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6					
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4	2				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6					
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えている。		5	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	3	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	1		放課後児童クラブ等との日程調整等、連絡を行っていく努力をしていく。
	27	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2			
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1			
	29	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3			
	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
保護者への説明等	31	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	1		
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	1		
	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知しているか。	3	3			
非常時等の対応	39	災害の発生に備え、定期的に避難・救出、その他必要な訓練を行っている。	5	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2			
	42	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6			
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	3			

職員による自己評価

A環境面

支援のための環境は十分に整っている

B児童への支援内容

一人ひとりの特性に合わせた内容の支援を行っている

C関係機関との連携

保護者からの要望や事業所で必要と考えた場合には関係機関と日程調節をして連携をしている

D保護者への説明責任・信頼関係

契約時の際の説明や、定期的な面談時に情報共有を行っている

E非常対応

マニュアル等を作成し、保護者には契約時に渡し、説明を行っている

保護者による評価

A環境面

特に問題点はないと感じて頂いている

B児童への支援内容

支援内容については、都度事に保護者と話し合いを行って適切な支援内容になるように努めている

C事業所からの情報発信

HPを作成しているが認知度があまり高くないため、共有を図っていく

D非常対応

年に数回、一斉に避難訓練と消防訓練を行っている

事業所内での分析

【共通点】

環境面、支援内容については概ね満足して頂けている

事業所からの説明等に関しても概ね満足して頂けている

【相違点】

事業所からの情報発信において、保護者の認知度が上がらないため周知を行って行く必要がある

分析・検討してみて…

事業所の強み

支援内容や環境面については概ね満足をして頂けていて、保護者や児童との信頼関係も構築されてきていると認識している。

保護者の方々との面談も随時行っていて、意思疎通は図れている。

今後は、今までの支援内容などを検証し、より良い支援を行えるように職員と話し合い工夫を続けていきたい。

事業所の改善点

情報発信（HPなど）の点において、必要な情報を保護者の方からも聞き取りを行って工夫をしていきたい。

自分で通所をしている子どもたちの保護者とは、情報の共有をする場面が限られてきてしまうので工夫していく。

事業所の改善への取り組み

情報発信のためのHPに関しては、保護者とLINEを交換させて頂いているので、上手く活用して周知をしていき、又その内容などについてもご意見を伺わせて頂き改善していけるようにしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の方々の意見を参考にしながら事業所内で協議して改善案を協議していく。

課題となっていない部分についても、より良い支援が出来るように毎日のミーティングを上手く活用して工夫できるところは工夫していく。